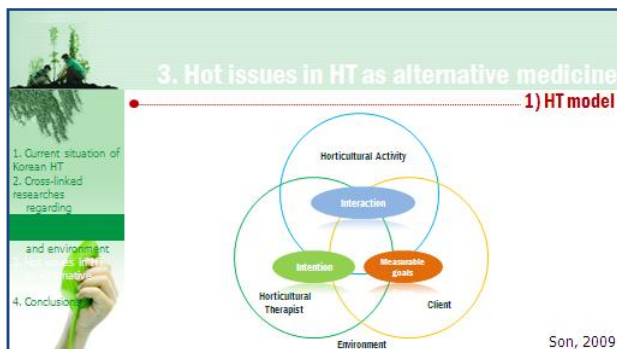


4 種類の植物の中で、スパティフィラムがオゾン吸収に特に効果的でした。



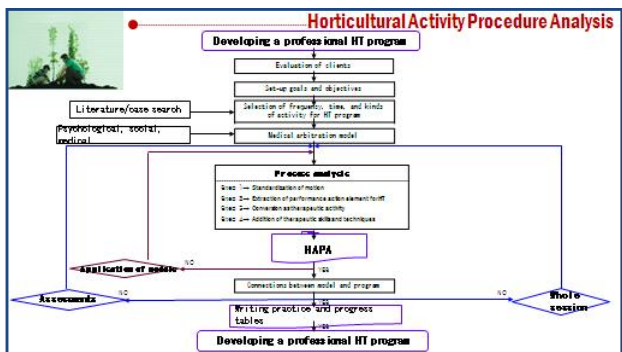
最後に、園芸療法が新たな学問分野として確立されるために注目すべき研究領域についてお話ししたいと思います。

園芸療法が専門の科学的分野として確立されるためには、明確な園芸療法モデルが設定される必要があります。多くの研究者がモデルを提案してきました。

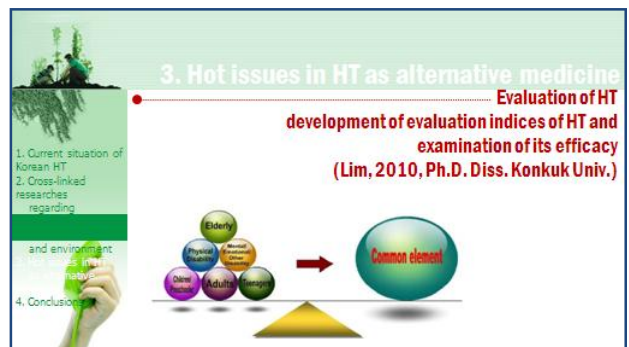


2009 年には私自身、2006 年に発表したモデルを改訂しました。この園芸療法モデルによれば、園芸療法は園芸活動、園芸療法士、対象者という 3 つの構成要素から成っています。園芸療法として定義されるためには、3 つすべての構成要素が求められます。また、3 つのすべての構成要素は他の関連する構成要素

と基本的なつながりを持っています。さらに、3 つの構成要素は相互作用、意図、測定可能な目標という 3 つの動的要素を含んでいます。あらゆる治療結果は対象者、園芸療法士、植物との間の相互作用の中に見られます。これらのインターフェースは意図的であるべきです。意図的なものが存在しなければ、対象者の変化を追跡することができません。その場合は活動が単に喜びとして残るのみであるということを示します。さらに、すべての関係は測定可能な目標に合っていて、評価することが必要です。



園芸療法プログラムは単なる活動プログラムではなく、治療目標と明確な指針をもつ専門的活動です。専門職としての園芸療法プログラムが展開されなければなりません。このフロー・チャートは準備および診断段階と計画段階の詳細な手順を示しています。言い換えますと、これは、医療仲裁モデルと園芸活動手順分析(HAPA)を強調して、全体的な順序、相互関係、専門的な園芸療法プログラムを展開する際に考慮すべきポイントを示したものです。プログラムは患者と臨床診断の特徴に基づくものでなければなりません。あらゆる活動は分類され、分割され、体系化されなければなりません。さらに、植物を用いる園芸活動の独自性が療法活動に浸透していなければなりません。



園芸療法の研究と実践の驚異的な発展にもかかわらず、国際的に標準化された園芸療法の評価指標と園芸療法のための評価フォームは独立して開発されていないと私は思います。今まで、園芸療法の有効性に関する研究にはいくつかの制限がありました。1) 園芸療法の独自性を反映することのできる評価ツールが無いために 2) 心理学分野で開発されたスケールが多く用いられ 3) データ収集がより対象者の自己報告に近い調査に依存したものであり 4) 評価ツールの中には信頼性と有効性を欠くものも用いられていたということです。

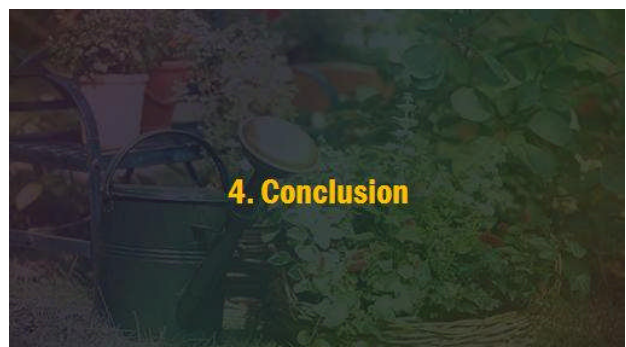
したがって、最も緊急のニーズは国際的に標準化された評価指標および園芸療法のための評価フォームを開発することです。ごく最近になって、園芸療法のすべての対象者に適用できる評価フォームが開発されました。それはセラピストが評価を行うために考案されたものです。韓国で初めて、そのフォームは厳密な手順と方法に基づいて臨床現場に適用することができます。



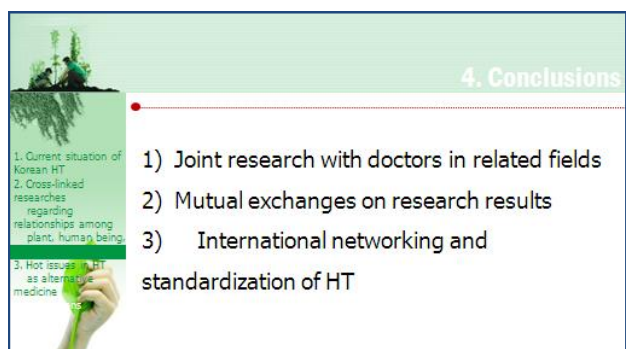
Lim 博士と私が開発したその新しい評価フォーム、Konkuk 園芸療法評価スケール (KOHTES: Konkuk HT evaluation scales) は、園芸療法の独特の特徴を反映しており、より高い信頼性と有効性を持ってさまざまな対象者に適用することができます。そのスケールは、このスライドでおわかりのとおり、身体的、認知的、精神・心理的、社会的という4つの異なる側面が開発されました。園芸活動の評価するのに用いられる他のスケールはありますが、これは園芸療法の独自性を反映し、各スケールの信頼性と有効性が検証された世界初のスケールであると思います。

(追加情報)

- 身体的スケールに関して：一度あるいは繰り返し行われるさまざまな身体的活動を評価する 5 つの構成要素と 25 の評価項目があります。
- 認知的スケールに関して：4 つの構成要素と 26 の評価項目があり、物や状況の認識・判断、推測するなどの認知的能力を評価します。
- 精神心理的スケールは 2 つの構成要素から成り、24 の評価項目があります。与えられた状況に対する心理的、感情的反応を測定します。
- 社会的スケールは、4 つの構成要素があり、23 の評価項目があります。他者との相互作用の一部として起こる行動を評価するものです。



私のプレゼンテーションの締めくくりを行いたいと思います。



本日のプレゼンテーションに基づいて、園芸療法の普及・発展のために行うべきことをいくつか挙げます。

- 1) 関連分野の医師との共同研究が必要です。
- 2) 研究成果の相互交流も行われるべきです。
- 3) 園芸療法の国際的ネットワークづくりと標準化がもっと行われるべきです。

それらを達成するために、各国の専門家が翻訳者の助けを借りて成果と意見に関して綿密な話し合いを行うべきであると信じています。本日の会議が園芸療法をアップグレードするスプリング・ボードとなるものと信じています。

ご清聴ありがとうございました。

